

事業所名

スマートキッズソリス葛西(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2025年

1月

15日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 			
営業時間		10時0分	から	18時0分	まで
		送迎実施の有無		あり	なし
支援内容					
支援方法		個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	食具、筆記具等生活で使用する物の練習 利用者を主体とした自身で取り組むトイレトレーニングの課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題		教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動(〇〇教室ツアー、この前になにができるかな?等) 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施	
	運動・感覚	指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題		指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等)	
	認知・行動	見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題 特性における認知の偏りを緩和し、興味・関心の幅を広げる課題 数字の理解や計算の習得に関わる課題		数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 興味・関心の幅を広げるための活動(これってなんだ?、好きな物どれだ?等) 空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等)	
	言語・コミュニケーション	コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう)	
	人間関係・社会性	集団への参加や集団での指示理解のための課題 生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST)		集団の中で順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等) 注意・集中を目的とした活動(30秒チャレンジ、落とさず進めるかな等)	
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者のみならず、家族全体と本児の関係性に加えて、家庭での困りごとについて整理をし、実際の様子を家庭訪問や口頭で共有を行う事で、その都度有効な対応を検討し、提案していく。		移行支援	
地域支援・地域連携		各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携していく。 園での課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所での対応を他機関に連携することで、実践的な支援に繋げる。		職員の質の向上	
主な行事等		避難訓練(火事、地震、防犯等)、課外活動(ドーナツを食べよう)、調理活動(かき氷)、保護者会、その他			

当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支え、利用者に対する支援の統一を図る。
日常的な連携に加え、利用者に対して就学に向けてできる支援について共有を図る。

経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。
心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。